大豆作技術情報 No.3

令和８年８月１７日
鳥取県産米改良協会

～開花期かん水と病害虫防除の徹底～

〇開花期かん水

今後、高温で降水量は少ない予報である。夕立も少なく、地域によっては渇水となっているため、実施可能なほ場では、ポンプアップ等による開花期かん水を検討し、収量と品質向上を目指す。

〇カメムシ及び紫斑病等を対象にした病害虫防除の時期です。

（開花期後の日数、着莢状況を目安に防除を行う。播種が遅い場合は、開花期、防除適期も遅くなるので注意する。）

・病害虫防除は作柄を安定させ、品質改善にも効果が高いことから、必ず行うこと。
・防除適期を逸しないように計画を立てて防除を行うこと。

Ⅰ　天気概況

１か月予報（2026年8月13日発表）の解説　広島地方気象台

向こう１か月の天候の見通し
中国地方　（8/15～9/14）

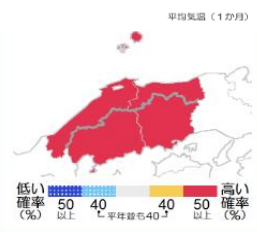
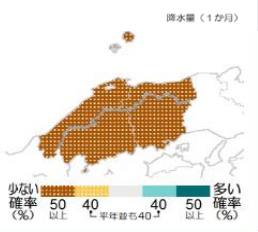
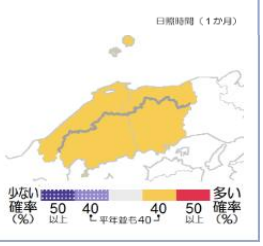
予報のポイント

- ７月から暖かい空気に覆われ、気温の高い状態が続いています。今後１か月程度も、暖かい空気に覆われやすいため気温の高い状態が続く見込みで、向こう１か月の気温は高いでしょう。
- ７月から高気圧に覆われやすく、降水量の少ない状態が続いています。今後２週間程度も、湿った空気の影響を受けにくいため降水量の少ない状態が続く見込みで、向こう１か月の降水量は少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

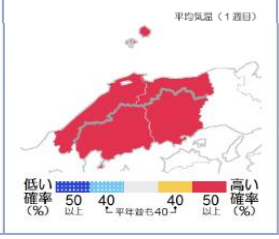
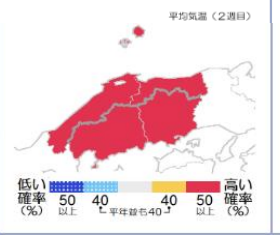
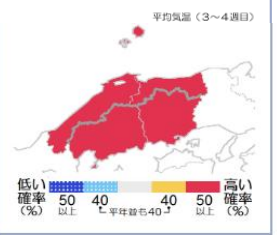
向こう１か月の天候

- 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう１か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（向こう１か月）	降水量（向こう１か月）	日照時間（向こう１か月）
中国地方	山陰	低10 並30 高**60**% **高い**見込み	少**50** 並30 多20% **少ない**見込み	少20 並**40** 多**40**% **平年並か多い**見込み
	山陽		少**50** 並30 多20% **少ない**見込み	少20 並**40** 多**40**% **平年並か多い**見込み
数値は予想される出現確率（%）です				

週別の天候と平均気温

		１週目 8/15～8/21	２週目 8/22～8/28	３～４週目 8/29～9/11
天候		湿った空気の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
平均気温	中国地方	低10 並40 高**50**% **高い**見込み	低10 並30 高**60**% **高い**見込み	低10 並40 高**50**% **高い**見込み
	数値は予想される出現確率（%）です			

Ⅱ　生育概況

○現地ほ場

・6 月上中旬播種の星のめぐみ・サチユタカ・はれごころは 7 月下旬から 8 月上旬に開花し、6 月下旬播種のサチユタカ・はれごころは 8 月上旬に開花期を迎えている。

・7 月 8 日の梅雨明け以降、まとまった降雨がなく 7 月播種の一部のほ場では、干ばつによる出芽、苗立ち不良や生育停滞が見られる。

○農業試験場の奨励品種決定調査ほ場

・6 月 17 日に播種したタマホマレ、サチユタカ、星のめぐみ、はれごころは 8 月上旬に開花期を迎え、播種から開花期までの日数はほぼ平年並であった。

・開花期は、播種時期が遅れたことから、平年と比べサチユタカは9日、タマホマレ、星のめぐみが10日、はれごころが11日遅かった。

・いずれの品種も開花期の草丈及び主茎長は平年よりやや短～短い傾向であった。また、はれごころにおける過去3年の平均値及び他品種の平年値と比べて、いずれの品種も主茎節数はやや多～多く、分枝節数は多く、分枝数は平年並であった。なお、2以上の節を有する一次分枝の総数を分枝数とした。

奨励品種決定調査ほ場　開花期生育調査結果

令和8年8月4日　鳥取県農業試験場

タマホマレ

年次	播種日	開花期	日数	草丈(cm)	主茎長(cm)	主茎節数	分枝節数	分枝数
2026	6/17	8/5	49	56.8	33.2	14.7	12.8	0.9
2025	6/6	7/21	45	79.5	49.8	13.8	20.3	4.1
(平年値)	6/11	7/26	46	71.9	43.0	12.5	6.5	1.5

※平年値は2019年及び2021年～2024年の平均値(2020年は豪雨により播種時期が遅いためデータなし)。

サチユタカ

年次	播種日	開花期	日数	草丈(cm)	主茎長(cm)	主茎節数	分枝節数	分枝数
2026	6/17	8/6	50	56.6	26.6	14.7	12.6	0.9
2025	6/6	7/28	52	84.0	47.4	13.2	10.6	1.7
(平年値)	6/8	7/28	50	75.2	42.5	12.5	4.8	1.0

※平年値は2019年及び2021年～2024年の平均値(2020年は豪雨により播種時期が遅いためデータなし)。

星のめぐみ

年次	播種日	開花期	日数	草丈(cm)	主茎長(cm)	主茎節数	分枝節数	分枝数
2026	6/17	8/3	47	76.6	41.4	14.9	13.9	1.4
2025	6/6	7/21	45	93.1	60.6	12.7	14.8	3.5
(平年値)	6/8	7/24	45	77.8	52.4	11.3	6.3	1.5

※平年値は2019年及び2021年～2024年の平均値(2020年は豪雨により播種時期が遅いためデータなし)。

はれごころ

年次	播種日	開花期	日数	草丈(cm)	主茎長(cm)	主茎節数	分枝節数	分枝数
2026	6/17	8/6	50	63.8	28.4	14.6	12.2	0.6
2025	6/6	7/25	49	92.8	47.5	14.1	13.2	2.5
過去3年平均	6/8	7/26	48	79.2	43.0	13.6	7.8	1.5

Ⅲ　病害虫発生状況（令和8年度病害虫発生予報第6号抜粋）

令和８年度病害虫発生予報第６号

令和８年８月５日
鳥取県病害虫防除所

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	発生時期	予想発生量
普通作物	ダイズ	紫斑病	平 年 並	平 年 並
		ハスモンヨトウ	やや早い	やや多い
		カメムシ類	平 年 並	やや多い

普通作物

［ダイズ］

１　紫斑病
（１）予報の内容
　　発生地域　　県内全域
　　発生時期　　平 年 並
　　発 生 量　　平 年 並
（２）予報の根拠
　ア　大豆の成熟期は平年並と見込まれることから、本病の発生時期は平年並と予想される。
　イ　向こう３か月の気象予報から、本病の発生量は平年並と予想される。
（３）防除上注意すべき事項
　　病害虫防除指針等を参考にして、水和剤又は粉剤を使用して防除を行う。

２　ハスモンヨトウ
（１）予報の内容
　　発生地域　　県内全域
　　発生時期　　やや早い
　　発 生 量　　やや多い
（２）予報の根拠
　ア　６～７月下旬までのフェロモントラップによる総誘殺数は平年並～やや多い。
　イ　これまでの発生経過及び気象経過から、若齢幼虫による被害は平年よりやや早い８月上旬から発生し始めると予想される。
　ウ　これまでの発生状況､現在のダイズの生育状況及び向こう１か月の気象予報から、本種の発生量はやや多いと予想される。
（３）防除上注意すべき事項
　ア　夏季の高温乾燥条件で多発しやすい。
　イ　若齢幼虫は集団で葉裏の葉肉を食害するために、表皮が残り白変葉となる。発生初期の防除は、白変葉の発生か所を中心に、捕殺（葉ごとの切除）あるいは粉剤又は水和剤等のスポット散布が有効である。

3　カメムシ類

（1）予報の内容

発生地域　　県内全域

発生時期　　平 年 並

発 生 量　　やや多い

（2）予報の根拠

ア　７月下旬現在、予察灯におけるイチモンジカメムシ、アオクサカメムシ及びホソヘリカメムシの総誘殺数は平年並である。

イ　大豆の開花期は平年並と予想されることから、本種の発生時期は平年並と予想される。

ウ　これまでの発生状況及び向こう１か月の気象予報から、本種の発生はやや多いと予想される。

（3）防除上注意すべき事項

病害虫防除指針等を参考にして、開花期の２５～３０日後と、その１０日後に、粉剤又は水和剤を使用して防除を行う。

Ⅳ 技術対策

1 かん水

大豆において、開花期から莢伸長期にかけての極度の水分不足は、着莢数の減少や子実肥大不良の主要因となり、青立ちにも強く関与していると見られている。以下の方法を参考に、増収や品質向上を図る。根粒は空気と水の消費量が大きいため、干ばつ時の積極的なかん水は、増収につながる場合が多い。

表　かん水が大豆生育・収量に及ぼす影響

（2002鳥取農試サチユタカ）

処理	精子実重 (kg/a)	収量比 (%)	等級 (1～加工)	残葉程度 (0～5)
かん水区	31.9	128	3中	0.4
非かん水区	25.0	100	3中	1.1

(1)かん水の方法

〇かん水回数

開花期～着莢期(7月下旬～8月下旬)に乾燥状態が続く場合は積極的に行う。

〇かん水要否の判定

葉裏が見え、ほ場全体が白っぽく見えるような状態になると、すでに水不足による障害を受けている可能性もあるため、天候と土の状況を見ながら、ストレス症状が生じる前の早めのかん水が有効である。

〇かん水方法

・1日2時間程度(20mmかん水)とし、一筆のほ場全体をかん水するのに3日程度かけて行う。

・水口部の水位がうね高さの1／2程度になるよう水口開度を調節し、土壌が徐々に湿潤状態となるように入水量を加減する。

(2)かん水を行う際の注意事項

◎ほ場の排水対策が十分に実施されていること。

〇かん水要否の判定は、午後4時頃行うと判定しやすい。

〇一度かん水したほ場では、かん水の要否判定を参考し、適切な土壌水分管理に努める。

〇短時間でのかん水は、水口部での倒伏や湿害を招く恐れがある。また、かん水後に長期の停滞水がある場合も、湿害を招く恐れがあるため注意すること。

※　顕著な水不足によって、水田も渇水の影響が大きくなっています。用水の全体量と水稲への給水のバランスに配慮し、地域の話し合いによって大豆ほ場への配水を検討しましょう。

2 排水対策

この時期からの大雨による停滞水は、生理的な落莢を助長する。あらかじめ排水溝の手直しを行い、台風やゲリラ豪雨等があった場合は、速やかに排水できるよう努める。

3 病害虫防除

紫斑病とカメムシの同時防除を基本とする。カメムシ類や他の害虫等の発生が多い場合には、殺虫剤の追加防除を行う。

(1)紫斑病・カメムシ類

《 紫斑病防除に水和剤を使う場合 》

ア カメムシ防除にネオニコチノイド系又はフェニルピラゾール系殺虫剤を使用する場合

① 開花期後30～35日(全体の花が終わった時期)の1回防除を基本とし、紫斑病防除薬剤(アミスター20フロアブルの2, 000倍)とカメムシ防除剤(ダントツ水溶剤、スタークル顆粒水溶剤、キラップフロアブル等)を使用する。ただし、登録範囲内で最も高い希釈倍率の混用で100～150L／10aの薬液を散布する。なお、展着剤を必ず加用し、丁寧に散布することが重要であるが、鉄砲ノズルを使用する場合は、多めの薬液が必要となる。

※追加防除を行う場合には、1回目とは他系統の薬剤を散布する。

イ カメムシ防除に上記以外の殺虫剤を使用する場合(2回防除が基本)

① 1回目:開花期後25～30日(全体の花が終わった時期)
紫斑病防除薬剤(アミスター20フロアブルの3, 000倍)とカメムシ防除剤 (トレボン乳剤等)の混用で、150～300L／10aの薬液を散布する。なお、展着剤を必ず加用する。

② 2回目:1回目防除の10日後カメムシ防除剤(水和剤あるいは粉剤)

《 紫斑病防除に粉剤を使う場合 》

① 1回目:開花期後25～30日後 トライトレボン粉剤DL

② 2回目:1回目防除の10日後 カメムシ防除剤(スタークル粉剤DL、トレボン粉剤DL等)

(2)ハスモンヨトウ

ア 若齢幼虫の加害によって発生する白変葉の早期発見に努める。発生初期の場合、葉の切除などの捕殺を行うか、農薬のスポット散布を行う。

イ 防除の目安は、1a当たりの白変か所数5か所以上とする。

ウ 新葉の出葉により、白変葉が確認されにくいほ場が多いので、観察にあたっては、ほ場周辺からの観察のみならず、ほ場内での観察も行う。

エ 若齢幼虫に対する登録農薬の効果は高いが、齢期が進むと防除効果が低下するため、 散布適期を失しないようにする。中齢～老齢幼虫が多い場合は、プレバソンフロアブル5等を散布する。

4 雑草対策

・開花期を迎えた大豆に培土する場合は、根や葉を傷めないよう注意する。
※ 基本的には、開花期直前までに培土を終わるように、排水作業を徹底し、適期作業を計画する。

・この時期から大型雑草が目立つようになるため早めに除去する。

・除草剤を使用する場合は、畝間処理もしくは全面処理の適用を慎重に確認し、薬害が発生しないように注意する。散布前後の薬液タンク及び噴霧器・ホースは必ず洗剤を使用して洗浄する。
※ 水稲茎葉処理除草剤散布後の大豆防除で、薬害のリスクが高まるため、使用機器の洗浄を徹底する。

【参考】暑い日が続き、熱中症による救急搬送が急増しています。引き続き予防を呼びかけてください。



農作業中の熱中症の予防管理

◎ 高温時の作業を避けましょう

● 最高気温30℃以上が3日以上予想される場合には熱中症警戒期間が発表され、
最高気温35℃以上が3日以上予想される場合には熱中症特別警戒期間が発表されます。
● 天気予報や県の「あんしんトリピーメール」等で情報を入手しましょう。

◎ こまめに休憩し、水分を補給しましょう

●農作業には必ず水、氷(保冷剤)や濡れタオルなどを持参しましょう。
●涼しい日陰等で休憩し、20分ごとに コップ1～2杯の水分と適宜塩分も補給しましょう。

◎ 涼しい服装で、体温を調節しましょう

●農作業の際は帽子を着用し、汗を吸いやすく乾きやすい素材の衣服を着用しましょう。
●空冷ファン付き着衣や冷却グッズを有効活用し、作業中の体温を調節しましょう。

◎ 作業は2人以上で行いましょう

●急に動けなくなることがあるため、1人での作業は避けましょう。
●1人で作業する場合は、必ず、家族等に作業場所と帰宅予定時刻を伝えましょう。

◎ 天気予報の暑さ指数(WBGT)を見ましょう

●今日、明日の作業強度が高い場合は、軽い作業へ変更しましょう。
●変更が難しい場合は、作業する時間帯を朝夕の時間帯にずらしましょう
●休憩や給水の回数を増やしましょう。

暑さ指数に応じた作業の目安を参考にしましょう

作業強度／WBGT基準値	農作業の例
作業は原則中止／３１以上	・冷房の効いた室内での軽作業のみとする
軽作業（厳重警戒必要）／３０	・楽な座位、立位、軽い手作業（書く、簿記など） ・手及び腕の作業（点検、組み立てや軽い材料の区分け） ・腕と足の作業（普通の状態での乗り物の運転、足のスイッチやペダルの操作）
中程度の作業（警戒を怠らない）／２８ 	・トラクターや重機の操作、草むしり、果物や野菜の収穫 ・軽量な荷車や手押し車を押したり引いたりする
重労働（積極的に水分補給）／２５ 	・シャベルを使って少量の土の移動、刈払い機で草刈り ・重い荷物の荷車や手押し車を押したり引いたりする
ほぼ安全／２１	・激しくシャベルを使ったり掘ったりする、鍬で畑を耕す